

学校づくり（あすなろ）アンケート（結果） 5年生対象

【児童】 そう思う…A だいたい思う…B あまり思わない…C 思わない…D

| | | 2025年度 | | | |
|------|---|--------|-------|-------|-------|
| しつもん | | A | B | C | D |
| 1 | 学校は、たのしいです。 | 32.4% | 50.7% | 11.3% | 5.6% |
| 2 | 家の人や地域の人、先生、友達にすすんであいさつをしています。 | 23.9% | 53.5% | 15.5% | 7.0% |
| 3 | 天神小の子どもたちが育ってほしい姿「かしこくやさしくたくましく」を心がけています。 | 19.7% | 54.9% | 14.1% | 11.3% |
| 4 | 勉強でわからないところがあったときは、わかろうと努力しています。 | 47.9% | 32.4% | 16.9% | 2.8% |
| 5 | 友達にやさしくしています。 | 52.1% | 42.3% | 4.2% | 1.4% |
| 6 | 学校や学級のきまりを守り、安全に生活することができています。 | 32.4% | 56.3% | 11.3% | 0.0% |
| 7 | いじめはよくないということについて、クラスで話しています。 | 50.7% | 36.6% | 9.9% | 2.8% |
| 8 | 困ったことがあったときに相談できる人がいます。 | 57.7% | 29.6% | 5.6% | 7.0% |
| 9 | 学校のことについて家で話をしています。 | 33.8% | 32.4% | 21.1% | 12.7% |

【保護者】 そう思う…A だいたい思う…B あまり思わない…C 思わない…D

| | | 2025年度 | | | |
|------|-----------------------------|--------|-------|-------|------|
| しつもん | | A | B | C | D |
| 1 | 子どもは、楽しく学校へ行っている。 | 47.0% | 43.9% | 7.6% | 1.5% |
| 2 | 子どもは、家庭や地域、学校で進んであいさつをしている。 | 19.7% | 56.1% | 19.7% | 4.5% |
| 3 | 学校は、教育の目標や方針を分かりやすく伝えている。 | 25.8% | 60.6% | 12.1% | 1.5% |
| 4 | 学校は、学習の様子・学校生活の状況を適切に伝えている。 | 53.0% | 40.9% | 3.0% | 3.0% |
| 5 | 学校はわかりやすい授業をめざし、努力している。 | 31.8% | 57.6% | 9.1% | 1.5% |
| 6 | 学校は子どもの安全や防犯について取り組んでいる。 | 31.8% | 54.5% | 12.1% | 1.5% |
| 7 | 学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。 | 19.7% | 65.2% | 13.6% | 1.5% |
| 8 | 学校は子どものことについて保護者の相談に応じている。 | 42.4% | 50.0% | 6.1% | 1.5% |
| 9 | 私は学校からの配布物や連絡メールに目を通している。 | 65.2% | 27.3% | 6.1% | 1.5% |

【学校運営協議会の方々より】

- 挨拶についてですが、児童・保護者共に約2割くらい進んで挨拶をしていないとの結果です。私は、おはようボランティアをしています、私自身も同じくらいの割合が挨拶がない気がしていました。これからも、一人でも多くの児童が強制ではなく自然に挨拶できるよう考えて活動していきたいと思います。
- 挨拶は、進んでする子は以前より少なくなっているように感じます。知らない人から声をかけられることに不安や恐怖心があるかもしれません。地域との繋がりができれば、進んで挨拶をする子が増えてくるのではないかと思います。
- 家庭から挨拶の大切さについて考えると良いと思います。
- 2年と5年に子どもが在籍していますが、高学年になるほど勉強も含め複雑で大変になるのだなと日々感じます。Dの回答が少しでも減るには、親として何ができるのかと考えさせられました。
- 多くの児童が楽しく学校生活を送っているようですが、学校を楽しいと思えない5.6%の児童が気になります。学習面なのか、友だち関係なのか、何が要因なのか、気になるところです。
- 学校が楽しいとAの回答率がさらに上昇するように、様々な角度から子どもたちにアプローチしていただきたいです。
- CD合わせて16.9%の子どもが、学校は楽しくないと感じ、それに対して親御さんがわかっていないのでは？と感じます。
- 育ってほしい姿のかしこくとたくましくに対しての理解が難しいと思います。
- 学校のことについて家で話すことは、親の側からの働きかけが大事だと思います。色々な家庭があるので一概には言えませんが、親の側にも課題があると思います。また、子どもが反抗期ということも関係しているのではと感じます。
- 学習については、意欲が感じられる結果で安心しました。
- 安全面やいじめについては、親の心配がCDに表れているのかなと思います。
- 「すぐーる」になってから、書類の確認が本当に楽になりました。新しい取り組みが少しずつ増え、先生も親も負担が減っていったらうれしいです。
- 困ったことがあった時に誰にも相談できずに、一人悩んでいる7%の児童は、保護者にも相談できないのでしょうか。
- アンケートから学校に不満（CD）がある保護者が若干いるように感じました。
- 延期になった運動会や学習発表会は、多くの保護者が参観されていて関心が高いようでした。
- 授業のサポートに入って感じたのは、一人一人理解して表現するスピードの幅が広すぎて、皆同じように進めるのは至難の業だと、先生方の苦労を感じました。
- 児童アンケートでは、ほとんどの項目が8割を超えており、学校での生活が充実していることがうかがえます。地域の中でも、友だち同士で楽しく遊ぶ様子が見えます。一方で、CDにマルを付けた子も一定数いるので、そこにもしっかりと目を向け、お力になれることがあればと思います。
- 保護者アンケートからは、先生方の日々の取り組みが保護者の方にも伝わっていると思いました。
- 学校運営協議会での学校からの説明を聞いて、先生方が学校づくりに取り組んでいることが良く分かり、アンケートにもABの評価が高いという結果につながっていると思います。
- 先生方が、保護者の方々と一生懸命コミュニケーションをとる努力をしているのが伝わってきます。子どもたちも学校を通して、豊かな心を育てているのだなと思います。
- 先生方の働き方改革にも協力できるところは、協力していきたいと思います。
- 天神小の子は、公園で会うと、どの子も仲が良く約束していなくても集まったら自然と一緒に遊べている様子が、とても良いなと感じます。学校のあたたかい雰囲気が伝わってきます。
- 友だちに優しくできているのは、いじめは良くないと理解し行動していることの表れだと思いました。
- 保護者の方は、学校からのお知らせに目を通し関心の高さを感じます。
- 児童・保護者ともに学校生活や安全面への評価は高く、学校運営は概ね安定していると受け止めました。特に楽しさ安心感は天神小の強みと言えます。一方で、学習への主体性や自ら考え伝える力、いじめ防止の実感には一定の課題も見られます。取組内容をさらに可

今年度より、質問項目を新しくした箇所があります。

【児童アンケートの考察】

- 「3」の学校目標については、今年度新しく取り入れた項目です。今後学校目標に触れる機会を作り、子どもたちにも意識をもってもらおうと思っています。
- 「4」の学習については、多くの児童が前向きに取り組んでいますが、CとDを合わるとて19.7%になりました。その20%の児童を支援することが大切で、日々の授業の中で子どもたちが自分から進んで学んでいけるような雰囲気作りと個別の支援を心がけていきます。
- 「5」の友達との関わりについては、AとBを合わせて95%前後の数値を示しており充実した学校生活を送れている様子が伺えます。今後もより充実した学校生活が送れるように、指導支援していきます。
- 「6」「7」については、学校での集団生活を過ごす中で、Aの箇所を増やしていく必要があります。児童自身が大切だと感じていけるよう日々の声かけや考える機会を作ることを職員が意識していきます。
- 「8」の困ったときの相談相手については、AとBを合わせて90%ほどの児童は相談できる環境にありますが、残りの10%の児童に目を向ける必要があります。児童が安心して学校生活を送れることを第一に考え、保護者の皆様と連携しながら児童を支えていけるよう努めていきます。

【保護者アンケートの考察】

- 「3」の教育目標について伝わっていると感じている保護者は25.8%と低い数値でした。「4」の学校の様子についての発信にもいえることですが、学校からの発信をわかりやすく伝えられるよう努めていきます。
- 「5」のわかりやすい授業については、AとBを合わせて90%近い数値でした。児童のわかろうと努力する意識を受けて、常に児童が「わかった」と思える授業を心がけていきます。
- 「6」「7」については、Aの数値を伸ばしていく努力が必要となります。児童の安全と安心を守っていけるよう、学校として常に話し合いをもっていきます。
- 「8」については、AとB合わせて92.4%と高い数値になりました。学校生活について不明な点・心配な点がありましたら、遠慮なくご相談ください。

【その他】

- 「1」の学校を楽しいと思っているかの項目については、AとB合わせて児童が83.1%に対し、保護者が90.9%と差があることがわかりました。その点に着目し、児童の視点と保護者の視点の違いを探っていく必要があると感じました。
- 「2」の挨拶については、AとBを合わせて児童が77.4%、保護者が75.8%と全体と比較しても低い数値になっています。挨拶は例年課題となっている項目です。委員会による挨拶運動は効果的ですが、各学級での指導と声かけを今後も続けていきます。